

夜久野みらいまちづくり協議会《福祉・あんしん部会》

ふくしあん新聞 第12号

令和5年12月発行



MMC 町の通信

電話 37-1116

発行責任者：夜久昭広

「こんにちは」「お元気ですか」

— ささえさんによる見守り訪問活動 —

夜久野町は、人口減少、少子高齢化が進行しており、家族構成や地域の人々とのつながりも大きく変化してきました。とりわけ、ひとり暮らしや夫婦だけの高齢者世帯が増えており、だれもが安心して暮らすことができる地域づくりが大切です。

夜久野まちづくり協議会では、「ささえさん」が地域のひとり暮らし高齢者のお宅を訪問して、声かけや見守りなどの訪問活動に取り組んでいます。

この活動は、訪問を希望されるひとり暮らしの高齢者を近くのささえさんが定期的に訪問するもので、12月現在で101名の方が訪問希望されています。

～ 見守り訪問の様子を紹介します ～

〇ひとり暮らしの高齢者の声

デイサービスを利用したり、散歩をしたりして、外出していますが、家でひとりしていると不安になることもあります。ささえさんに声をかけてもらえると、力強く、気持ちが休まるのでうれしいです。

〇ささえさんの声

体調がよくないときや避難が必要な場合などは、遠慮なく連絡してほしいです。常日頃からのつながりを大切にしています。



〇ひとり暮らしの高齢者の声

地域の人に出会うこともほとんどないので、話をすることもありません。ほかのひとり暮らしの人は、どうされているのでしょうか。体力が落ちてきているので、転倒しないように気を付けています。ささえさんに来てもらえると、とても安心です。

〇ささえさんの声

民生児童委員としても、たびたび訪問しています。また、暮らしのささえ愛活動でもつながりがあるので、大変心やすく話ができていると思います。



見守り訪問活動に関わるささえさん会議

11月27日に、夜久野ふれあいプラザでささえさん会議（出席28名）を行いました。これまでの訪問活動を振り返って、訪問時のひとり暮らし高齢者の様子を交流したり、今後のよりよい訪問のあり方などについて、上・中・下夜久野地区別に話し合いを行いました。

今後も、おおむね2か月に1回程度の訪問を継続していきます。

ささえさんがプレゼント作り！

中夜久野地区のささえさんは、まつぼっくりのミニツリー作りとお菓子の袋詰めをしました。

12月は、このプレゼントにコメントを添えて訪問する計画です。

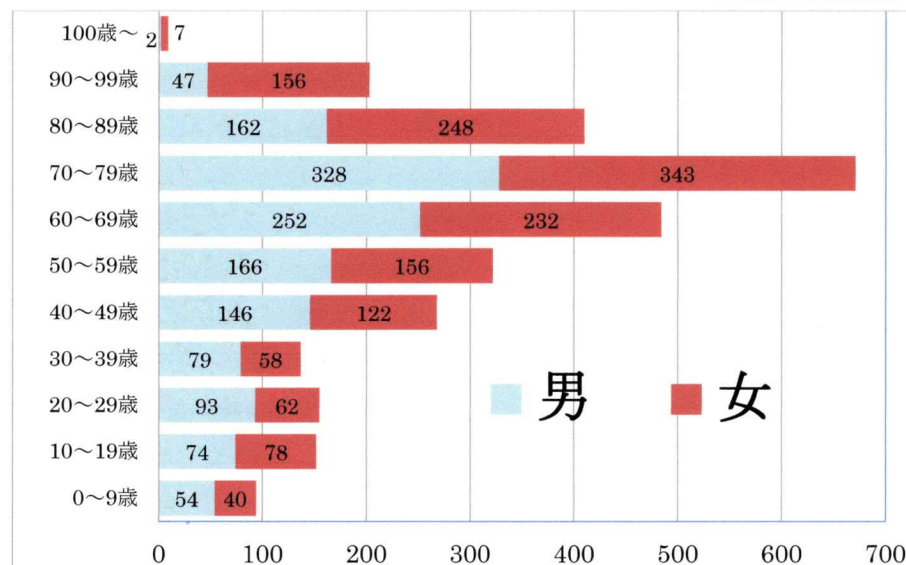


《夜久野町の人口の移り変わり》

	昭和35年(1960年)	令和5年(2023年)
15歳未満	2,549人(30%)	⇒ 169人(6%)
15～64歳	4,993人(60%)	⇒ 1,191人(41%)
65歳以上	852人(10%)	⇒ 1,545人(53%)
総人口	8,394人	⇒ 2,905人

子ども(15歳未満)は、高齢者(65歳以上)の3倍でした。

高齢者(65歳以上)は、過半数を上回っています。



男 1,403人 女 1,502人 合計 2,905人 (令和5年11月末現在)